

3月6日に「安全・安心を担う地域の守り手」である建設業に従事する若手建設技術者が集まり、現状の建設業の課題や未来に対して討論を行う“富士山と地域を守る若手技術者による未来会議”を開催しました。参加者は会社経営者や中堅技術者のエピソードも踏まえ、建設業の担い手不足について討論を行いました。

- ◆参加機関：静岡県・富士宮市・富士市・富士建設業協会・岳南地区測量設計技術研究会・国土交通省富士砂防事務所
- ◆参加者：男性7名・女性6名



参加者の集合写真



会社経営者から建設業の現状について聞く



未来会議の討論状況



未来会議の討論状況

## 《建設業の現状について》

### ●会社経営者より

「汚い・きつい・危険」の3Kと言われた時代がありました。今は「給料がよい・休日がある・希望がある」の新3KIに変わってきています。若者に建設業の良さを伝えて業界のイメージアップに努めて頂きたいです。

### ●中堅技術者より

高校卒業者が1人、久しぶりに入社した。若手には少々厳しく言い過ぎたと反省する毎日で、どう教えるべきか悩んでいる。若手の話を聞いて良い関係を築きたいです。

## 《未来会議で出された意見》

- ・やる気と大変さを天秤にかけたときに、大変さを上回る魅力がその仕事にあるかが担い手確保につながる。いかにして魅力がある業界にしていくかが大切だと思います。
- ・学校からなかなか就職を勧めてくれる業界ではないので、もっとアピールを行い、協力も必要だと思います。アピールを行うにあたり、技術の発展の必要性も感じます。
- ・仕事も内容も認知の低さがあると思います。だからこそ、職場体験をもっと利用したいです。
- ・社会に出たときに、相談できる人がいるのは大きいですし、職場環境も大事だと思います。

今後も、建設業の未来を良い方向に導けるよう、継続して意見の交換をしていくことを確認しました。まずは、職場体験会や見学会等のイベント企画立案において、若手職員の視点から、学生や子供達に興味を持って頂けるようなアプローチを提案していく予定です。